

1. 研究課題名

前期破水症例における感染管理および周産期転帰に関する後ろ向き観察研究

2. 試料・情報

(1) 利用目的

陣痛発来前に破水をしてしまうことを前期破水と呼びます。前期破水は母体および胎児・新生児への感染など重篤な合併症を引き起こすことがあり、感染予防を目的として抗菌薬が投与されることが一般的です。一方で、抗菌薬の最適な投与開始タイミングや投与期間、また投与する抗菌薬の選択などまだ十分にわかっていません。

本研究は前期破水を経験された方を対象として、母体や胎児の症状と抗菌薬治療、母体・新生児の転帰との関連を検討し、当院で分娩される方により安全な分娩管理を提供することを目的としています。研究期間は承認日から2028年3月31日までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2011年1月から2026年3月の間に前期破水を経験された方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、既往歴や在胎週数、分娩経過や分娩様式、血液検査や胎盤病理学的検査といった各種検査、分娩時合併症等の母体転帰ならびに新生児転帰に関する情報、産後の分娩経過に関する情報等を収集します。利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。診療記録から抽出した情報は加工処理され、個人が特定されることはありません。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 産婦人科 医師 有吉 悠 (研究責任者)

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合も、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604

担当: 産婦人科 医師 有吉 悠